

漫画動画 広告シナリオ

登場人物

星野 ミホ...42歳。白髪に悩む女性

星野トオル...45歳。ミホの夫

マサル...ミホの息子。6歳

高橋 ヤヨイ...45歳。ミホのママ友。ミホよりも年上なのに、素晴らしい黒髪を持っている。

紹介する商品

商品名 黒髪クロロ！

シャンプー

ターゲット層：30代後半から60代までの白髪染めに悩む女性たち

髪を染める自然由来の成分が入っており、シャンプーをすると自然と髪が黒く染まる。髪を染める美容代も、髪を自分で染める手間もかからず、天然成分によって髪も艶やかで美しくなる。

シナリオ

※鏡を見て悲鳴を上げるミホ

ミホ「ええ、私ってこんなに白髪生えてるの！」

ミホ(こりゃ、老けて見えるはずだわ)

ミホ「もう、どうすればいいのよお！」

※白髪染め中にマサルに臭いといわれるミホ

私の名前は、星野ミホ

42歳の主婦です

マサル「ママの髪の毛臭い！」

ミホ「仕方ないでしょう。毛染めしてるんだから！」

染めていると子供にこんなことを言われます

それに、染めてる間は家事もできない...

だから、毛染めはサボりがちです

※トオルの言葉にショックを受けるミホ

でも、そんなある日

トオル「ママ。最近ちょっと、疲れてない？」

ミホ「え？ そうでもないけど」

トオル「いや、やつれたというか。老けた気がするんだ」

ミホ「そんなことないわよ」

トオル「そう。気のせいなら、ごめんね」

※鏡を見て、ボサボサで白髪交じりの自分の髪に驚くミホ

夫にそう言われ、気になって鏡を見てみると...

ぼさぼさ...※髪がボサボサしている音

ミホ「なによこれ...。白髪が増えてる」

ミホ「それに、こんなボサボサ...」

※白髪染めをしているミホ、マサルにおやつをねだられる

慌てて白髪染めを買ってきて染めようと思っても
マサル「ママ。お腹空いた！おやつ食べたい」
マサル「なにか作って！」
ミホ「ええ、今から？」
マサル「いいでしょう！ママのホットケーキ食べたい」
ミホ「わかった。作ってあげる」
こんな風に、子供の面倒を優先しなきゃならなくて...

※午後8時になっている壁掛け時計を見て驚くミホ
そして、気がつくと...
ミホ「やだ、もうパパが帰ってくる時間」
ミホ「毛染めしてる時間なんてないじゃない！」
ミホ「もう。どうすればいいのよ...」
こんな風に、なかなか毛染めの時間がとれません

※トオルの言葉に、反発を覚えるミホ
夫にこのことを伝えても
トオル「お金。俺が出すからさ、美容院行ってきたよ」
ミホ「でも、お金かかるわよね」
トオル「仕方ないだろ。ママだってオシャレはしなきゃ」
ミホ「わかってるけど...」
ミホ(まえに美容院で白髪染めしたら5000円したのよね...)

※悩むミホ
私は悩みに悩んだ...
ミホ(美容院に行くのはお金がかかるからやめたい)
ミホ「でも、毛染めで、この前みたいな騒ぎがあると思うと...」
ミホ「うう。なんで白髪なんて生えてくるのよお」
でも、身だしなみはきちんとしたい

※ヤヨイに悩みを打ち分けるミホ
私は、悩みをママ友であるヤヨイさんに打ち明けていた
ミホ「ヤヨイさん。すっごく髪がキレイじゃない」
ミホ「どうしたら、そんな髪になれるの」
ヤヨイ「え？私も白髪、普通に生えてるわよ」
ミホ「え、どういうこと？」

※ヤヨイ、笑顔で黒髪の秘密を話す
ヤヨイ「私ね、白髪染めシャンプーを使ってるの」
ヤヨイ「お風呂でシャンプーをしながら白髪が染まるから便利よ」
ミホ「でも、何度も使わないと白髪染めシャンプーって染まらないわよね」
ミホ「前に使ってみたけど、なかなか染まらないし値段も高いし」
ミホ「髪も傷んでやめたことがあって...」
ヤヨイ「なるほど。それは不安になるわね」

※ヤヨイ、どこからともなく黒髪クロロ！を取り出す
ヤヨイ「だったら、この『黒髪クロロ！』をお勧めするわ！」
ミホ「この商品のどこがいいの？普通の白髪染めシャンプーにみえるけど...」
ヤヨイ「この白髪染めシャンプーは、普通の白髪染めシャンプーとは少し違うの」
ミホ「どういうこと？」

※自然由来の成分が髪に吸収されていき、キューティクルが髪を守るイメージ

ヤヨイ「まず、このシャンプーは自然由来の成分で髪が黒く染まるの！」

ヤヨイ「だから、髪が傷みにくいのよ」

ミホ「え、髪が傷みにくいの？ちょっと気になる」

ヤヨイ「さらに髪のキューティクルを守る保湿成分もたっぷり入ってるから」

ヤヨイ「髪の潤いや艶やかさをサポートしてくれるの！」

ミホ「す、すごい…」

※牧田が黒髪クロロ！を持って微笑んでいるイメージ

ヤヨイ「さらに某通販サイトでは白髪染めシャンプーでも売り上げナンバーワンを獲得！」

ヤヨイ「あの有名な大女優の牧田猫さんも愛用しているのよ」

ミホ「ええ、あの牧田さんがこのシャンプーで白髪染めしてるの？」

ミホ「てっきり地毛から黒なのかと思ってた」

ヤヨイ「このシャンプーのお陰で、あんなに艶やかな髪をお持ちなのかも！」

※牧田のコメントに感心するミホ

ヤヨイ「さらにこんなコメントも寄せてくれてるのよ！」

牧田「黒髪クロロを使ってから、面倒だった白髪染めから解放されて感謝しています」

牧田「髪の艶も取り戻せて、仕事にも一層力が入るようになりました！」

ミホ「ええ、すごいベタ褒め。黒髪クロロ。物凄く品質がいいんでしょうね！」

※ミホの悩みに同意するヤヨイ

ミホ「でも、きっと値段も高いわよね…」

ヤヨイ「そうね黒髪クロロ！はたしかに定価2500円と高いわ」

ヤヨイ「うわ！普通のシャンプーの3倍以上の値段…」

※ヤヨイ、黒髪クロロ！の長所を指摘

ヤヨイ「でも一般的な美容院では白髪染めは5000円以上！」

ヤヨイ「しかも白髪が伸びるたびに通わなくてはならないの」

ヤヨイ「それにひきかえ、黒髪クロロ！は、シャンプーをするだけで白髪染めが終了」

ヤヨイ「使い続けるだけで、美しい黒髪をずっとキープできるの」

ヤヨイ「どちらの方がお財布に優しいかは一目瞭然よね」

※悩むミホを説得するヤヨイ

ミホ「でも、染まるのに結構時間かかるよね。前もそうだったし…」

ヤヨイ「染まるのを待つのにシャンプーのあと、5分ほど待つ時間は必要よ」

ヤヨイ「でも、湯船につかってればそんなのあっという間！」

ヤヨイ「普通にお風呂に入っている感覚で、毛染めも出来ちゃうの」

※ヤヨイキレイな黒髪をなびかせて力説

ヤヨイ「むしろ、白髪染めで白髪を染めるよりも簡単、キレイに黒髪を維持できるの」

ヤヨイ「保湿成分が髪を守ってくれるから、白髪染めみたいに髪が傷むこともない！」

ヤヨイ「どちらがいいか一目瞭然よね」

ミホ「でも、値段がなあ…」

※美しい自分の髪を見せて、返金キャンペーン中の購入を勧めヤヨイ

ヤヨイ「大丈夫。今ならお得な返品キャンペーンもやってるわ」

ヤヨイ「使ってみて効果を実感できなかったら、購入から3ヵ月以内に返品可能」

ヤヨイ「購入金額が全額戻ってくる驚きのキャンペーンなの」

ヤヨイ「だから、気になるなら是非とも試してみて」

ヤヨイ「私も試してみて、ほらこの通り…」※ヤヨイの髪がキラキラ光ってるイメージ

ミホ(たしかに、ヤヨイさんの髪、物凄くキレイ)

ミホ(私も、ヤヨイさんみたいな髪になりたい！)

ミホ「わかった。試してみる…」

※シャンプーを試すミホ

私は、ヤヨイさんに勧められ、黒髪クロロ！シャンプーを使うことに

ミホ「本当に、ちゃんと染まるのかしら…」

ミホ「まえは、そうならなかったから正直不安」

※ミホ、自分の髪を見つめてガッカリする

そして5分経って洗い流しても…

ミホ「うーん。白髪のままよね」

ミホ「本当に染まるのか不安だわ…」

※ミホ、美しい自分の姿に驚く

でも、1ヵ月後…

ミホ「凄い！これが私！」

ミホ「髪に艶が戻って10年は若返ったみたいに見える」

ミホ「白髪が黒くなるだけで、こんなに違うなんて！」

※タオルが照れた様子でミホを褒める

そして、夫も…

トオル「ママ。その…」

ミホ「どうしたの。あなた…」

トオル「なんか、キレイになったね」

ミホ「え？」

トオル「こう、髪の艶がすごくキレイでさ…」

トオル「見惚れちゃうよ…」

ミホ(パパに褒められちゃった！)

黒髪クロロ！に会えて本当に良かった

私は心の底から、そう思ったのです

※返金キャンペーンを力説するミホ

ミホ「ここまで動画を見てくれたあなたに！朗報！」

ミホ「今なら、お得な返金キャンペーンを実施中です」

ミホ「私は、黒髪クロロ！シャンプーを使って自信ができました」

ミホ「あなたも是非、黒髪クロロ！を試してみてください」

ミホ「試すなら返金キャンペーン中の今がチャンス！」

ミホ「たくさんのお申し込みをお待ちしております」